

(一般質問)

| 質問日 | 令和6年3月11日(月) | | | 質問方式 | 分割方式 | | |
|----------------------------------|--|-----|----------|------|------|----|---|
| 質問順位 | 5 | 会派名 | 市民サポート浜松 | 議席番号 | 1 | 氏名 | 馬塚 彩矢香 |
| 表 題 | 質 問 内 容 | | | | | | 答弁者の職名 |
| 1 災害時にも安心できる取り組みを | <p>能登半島地震の被災状況を見て、他人事では無い危機感が強まったと感じる。</p> <p>本市はマンホールトイレの整備を進めているが、今回の報道を見る限り、液状化や地面の隆起が起これ、使用できないのではないかと危惧される。また、トイレの衛生環境が悪いとの報道もある。不衛生が故にトイレに行けない、行きたくないから水分摂取を控えることは、生活衛生上の問題や避難者の健康問題上、改善しなくてはならない大きな問題である。</p> <p>そこで、能登半島地震を受け、災害時のトイレについて、本市の考え等を伺う。</p> <p>(1) 本市は災害時のトイレ環境をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 小・中学校におけるマンホールトイレの設置箇所は、液状化対象地域であるか、また液状化が起きて使用できない可能性もあると思うが、その場合の対策・対応を伺う。</p> <p>(3) 防災機能を有する公園におけるマンホールトイレの設置箇所は、液状化対象地域であるか、また液状化が起きて使用できない可能性もあると思うが、その場合の対策・対応を伺う。</p> <p>(4) マンホールトイレが使用できない、仮設トイレの数が不足する場合を考慮し、既設トイレで使用できる携帯トイレの備蓄を早期に充足させる必要があると思うが、本市の考えを伺う。</p> <p>(5) 浜松市広聴モニターアンケートにおける、携帯トイレの備蓄状況の問いにおいて、「備蓄していない」と回答した割合は、令和4年度は65.5%、令和5年度は58.8%であり、依然として多くの市民が備蓄していない状況にあるため、市民への啓発の拡充が必要だと思うが、本市の考えを伺う。</p> | | | | | | 石田危機管理監 内藤水道事業及び下水道事業管理者 中村花みどり 担当部長 石田危機管理監 " |
| 2 子育て環境を支える取り組みを (1) 予算編成について | <p>(1) 市長は、本市の最大の課題は、「人口減少問題である」と定例記者会見で発言しており、令和6年度予算編成方針においても、子育て・教育環境の向上を掲げている。</p> <p>令和5年度「子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書」では、「子育てしやすいまちだと思うか」の問いに対し、思う31.3%、思わない23.0%、どちらと</p> | | | | | | 中野市長 |

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

| 表 題 | 質 問 内 容 | 答弁者の職名 |
|---|---|----------------------|
| <p>(2) ベビーケアルームなどの環境整備について</p> | <p>もいえない40.6%と、子育てしやすいまちであると言 い難い結果である。思わないと回答した人を子どもの世 代別で見ると、未就学児をもつ親27.7%、小学生をもつ 親24.9%の割合が高く、子育ての中で一番支援が必要な 時期の満足度が低いと思われる。子育て・教育環境の向 上を目指すためには、子育て世代の目線に立った支援 が、より必要だと考える。</p> <p>そこで、市長就任後初めての予算編成方針は、どのよ うな思いが込められているのか、考えを伺う。</p> <p>(2) 浜松市公共建築物ユニバーサルデザイン指針には、授 乳室の記載があるが、プライバシーを確保し授乳スペー スとおむつ交換台を設置するという簡素な内容で、設置 するに当たっての配慮事項など、利用者の立場に寄り添 うような記載がない。</p> <p>本市の公共施設における、授乳室やおむつ交換台、ト イレ内設置のベビーシートの整備状況は施設ごとに 様々で、育児中の男性が利用できない女性専用としてい る施設や利用者目線で設置されていない設備、衛生的だ とは言えない施設もある。「子育てしやすいまち浜松」 を目指すうえで、率先して公共施設の環境を整えるべき であると考え。</p> <p>そこで、本市における現状の整備状況に対する認識 と、男女問わず育児のために利用できるベビーケアル ームをはじめとした、利用者目線に立った利用しやすい 環境整備を行う考えはないか伺う。</p> | <p>石切山財務部 長</p> |
| <p>(3) 助産師会に委 託する妊産婦へ の支援事業の課 題解決に向けて</p> | <p>(3) 本市では、妊娠8ヶ月頃の妊婦やその家族に対し家庭 訪問等を実施し、伴走型相談支援を行う事業として「こ んにちはマタニティ訪問事業」、生後4ヶ月までの新生 児と母親に面談し相談支援や情報提供を行う事業とし て「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を行っている。これ らの事業は、妊娠から出産、子育てを行ううえで大切な 役割を果たしている事業である。しかし、昨今の情勢や 妊娠・出産する世代の感覚の変化から、事業の実施に際 し課題があると考え。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>ア 委託仕様書や契約の推移を見る限り、助産師の時給 は平成20年の1048円から令和6年の1143円まで、95 円しか上がっていない。令和5年度における静岡県の 最低賃金は984円であるものの、国家資格を有する助 産師としては非常に低賃金だと考える。なおかつ、ガ ソリン代や研修会への参加、妊婦への電話代等すべて がこの時給に含まれるため、個人負担が大きく、今後、 事業の継続にも支障が起きかねない。国家資格を有す る専門職が行う事業への評価と、委託単価の在り方 について考えを伺う。</p> | <p>平野医療担当 部長</p> |

| 表 題 | 質 問 内 容 | 答弁者の職名 |
|--|--|----------------------|
| <p>(4) S S W(スクールソーシャルワーカー)の雇用形態の見直しについて</p> | <p>イ 家庭訪問をする際には妊産婦に対し、電話で訪問日の日程調整をしている。地区担当保健師は固定電話から電話をかけるが、委託先の助産師は自らの携帯電話から電話をかけている。妊産婦としては、知らない番号である助産師の携帯番号からの着信に対し、振り込め詐欺等を疑い、出ない傾向にある。また、マタニティ訪問については、妊娠8ヶ月では産休に入っていない妊婦もあり、上記理由と相まって電話が繋がりにくい。これらの事情から、電話が繋がらず日程調整が難航している。</p> <p>そこで、妊産婦と委託者、双方にとって状況が改善される方法をD X化やその他の方法も含め模索できないか、考えを伺う。</p> <p>(4) S S W(スクールソーシャルワーカー)は、児童生徒が学校や家庭などで抱える悩みや問題に対し、福祉や医療などの関係機関へ繋ぎ、解決に向け働きかけを行っている。S S Wが担う問題には、不登校やいじめ、児童虐待やヤングケアラーなど、複雑化かつ多様化していることから、S S Wに期待する役割は、年々重要になっている。</p> <p>本市においては、毎年配置人数の拡充を行っており、令和6年度予算案においても2人増員予定となっているが、現在S S W1人当たりが担当しているエリアや児童生徒の人数を鑑みると、決して充足しているとは言えない。</p> <p>質の確保も重要であり、誰でも採用できる訳ではないことから、配置人数が大幅に増えることは考えにくい。</p> <p>そこで、現在は会計年度任用職員として週30時間勤務で雇用しているが、雇用時間を延長するなど雇用形態を見直し、現在雇用しているS S Wの対応時間の確保に努める考えはないか伺う。</p> | <p>奥家学校教育 部長</p> |
| <p>3 未来を担う世代に優しい取り組みを</p> <p>(1) 学校の臭いトイレの改善について</p> | <p>(1) 学校は児童生徒が日々の大半を過ごす生活の場であり、快適で衛生的な環境であることが心身の健やかな成長にとって重要である。</p> <p>浜松市学校施設長寿命化計画の学校施設の目指すべき姿と方向性では、生活環境の向上としてトイレの洋式化を進め、快適に学校生活を送ることができる環境を整えたとある。しかし、学校のトイレには、洋式化だけではなく悪臭等の問題もある。</p> <p>学校のトイレが臭い、汚いから行きたくないと、排泄を限界まで我慢してしまう児童生徒が実際にいる。児童生徒の健全育成、健康、衛生環境の観点からも改善すべ</p> | <p>奥家学校教育 部長</p> |

| 表 題 | 質 問 内 容 | 答弁者の職名 |
|----------------------------|---|----------|
| | <p>き問題である。現在、本市の学校のトイレは、床はタイル張りで湿式清掃を行っているところが多い。この現状は、汚れが溜まりやすくまた雑菌も繁殖しやすい。衛生面で重要なのが、洋式化と乾式清掃、床材は防汚性の高い塩ビシートに変えることである。児童生徒が排泄を我慢しなくても良いような衛生環境の改善のため、改修や清掃の専門業者に徹底的に清掃してもらい、汚れをリセットするなどの対応が必要であると考え。また、実態を把握するためには、実際に使用している児童生徒の意見を聞くことが最善だと考える。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>ア 学校のトイレの清掃は、用務員が行うかシルバー人材センターに委託をしているが、仕様書において清掃をすることのみの記載に留まっている。清掃方法など業務を遂行する上で必要な事項を設けることを模索できないか伺う。</p> <p>イ 現状の課題を踏まえた、今後の小・中学校トイレの整備の在り方について考えを伺う。</p> <p>ウ トイレ環境の整備を進めるに当たり、児童生徒にアンケートを取る考えはないか伺う。</p> | |
| (2) 生理用ナプキンディスペンサー実証実験について | <p>(2) 全国的に「生理の貧困」が社会問題となり、生理用品を無償配布する取り組みが行われた。本市においては、配布だけでは課題解決に繋がらないと考え、実態調査を行った結果、環境面や意識面での課題が判明した。本市は令和5年10月より防災備蓄品の有効活用を図りながら課題解決をするために、生理用ナプキンディスペンサーを試作し、学校施設や市役所本庁舎、中央図書館、あいホールに設置する実証実験を行っている。</p> <p>今後の展開が期待されるが、実証実験はどうであったか、また利用者ニーズや反応など社会実装への考えを伺う。</p> | 新谷市民部長 |
| (3) プレコンセプションケアの推進について | <p>(3) プレコンセプションケアは、将来の妊娠に備え、妊娠前からの健康管理という考え方もあるが、女性がそれぞれのライフステージで健康でいるために若い世代から健康管理をしていこうという考え方でもある。本市は、健康はままつ21の改訂に際し、思春期から男女の性や妊娠に関する正しい知識を身につけ、健康管理を促すような取り組みを一層推進していくとしている。しかし、令和6年度当初予算案には、既存事業である「今の食生活が未来の自分をつくります」や「未来の自分を考える講座」はあるが、要請がないと実施できない事業であり、新たに本市が主体となり働きかけていくような事業編成が見られなかった。特に重要なのは、より若い世代がプレコンセプションケアを早期に知り行動に起こせるような働きかけやきっかけを作る事業であると考え</p> | 平野医療担当部長 |

| 表 題 | 質 問 内 容 | 答弁者の職名 |
|--|---|--------|
| | が、本市の考えを伺う。 | |
| <p>4 世界的な考えである「ネイチャーポジティブ」に取り組める浜松市を目指して</p> | <p>本市は、生物多様性はままつ戦略の改訂に際し、生物多様性の損失を止め、反転させるネイチャーポジティブという新しい考え方を取り入れ、2030年までに陸域と海域の30%以上を保護区域として健全な生態系を保全する30 by 30目標に貢献するとある。</p> <p>このネイチャーポジティブは、2021年6月のG7サミットで打ち出された概念で2022年12月のCOP15で国際目標と設定され、環境省が公表した「次期生物多様性国家戦略」の素案においてもネイチャーポジティブの実現が目標となっている。</p> <p>しかし、令和6年度施政方針にあった、本市が県へ遠州灘海浜公園篠原地区に建設を要望している2万2千人規模の多目的ドーム型スタジアムは、アカウミガメへの影響は避けられず、種の絶滅を加速させる危険性をはらむものであり、生態系の損失を食い止めるどころか、ネイチャーポジティブの定義と矛盾し、30 by 30目標への貢献にも反するものであると考えるが、本市の考えを伺う。</p> | 中野市長 |